

ディップ 京都駅東南部エリアプロジェクトに参画 チームラボが中心となり複合文化施設を開業予定

ディップ株式会社（以下「当社」）は、アート集団チームラボ（以下「チームラボ」）を代表として設立された「京都駅東南部エリアプロジェクト有限責任事業組合（以下「本組合」）」に、組合員として参画いたします。



※画像はイメージです

本組合は、チームラボが代表となり、京都・大阪を基盤とする複数の企業と共に、アートミュージアム、アートセンター、市民ギャラリー等、地域と世界をつなぐ複合文化施設の設置・運営を行うプロジェクトに参画するものです。

当社は全国各地に拠点を構え、地域に根ざした企業の採用活動を支援しております。くわえて自治体と連携した「バイトル移住しごと・体験イベント」の実施を通じて地域とのつながりを生みだし、地方自治体の持続的な発展に貢献すべく活動しております。（※1）

本プロジェクトはチームラボのミュージアムをはじめ、ニューヨークの国際的メガギャラリーPACEのCEOらが手掛ける体験型アートセンター「Superblue」、学生や地域住民の活動・交流の場となる市民ギャ

ラリーなどを計画しています。本組合への参画を通じて地域と世界をつなぎ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(※1) バイトル移住しごと・体験イベント <https://www.baitoru.com/xr/>

■計画概要

<アートミュージアム>

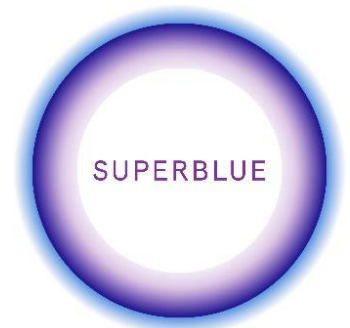
新作をはじめとした、チームラボのアート作品を複数展示予定です。世界中のクリエイティブクラスをはじめとした多くの人々のデスティネーションとなることを目指します。そして、エリアへの回遊性をデザインし、エリア全体の活性化を目指しています。



※画像はイメージです

<アートセンター>

アートセンターの計画には、国際的なアート事業 Superblue が参画。新たな体験型アートセンター Superblue Kyoto をプラットフォームに、世界的なアーティストによる大規模な没入型の作品展示や、京都の学生や地域住民の方々とのワークショップの開催を検討しています。



<市民ギャラリー>

京都市立芸術大学の学生をはじめ、京都の芸大生の発表と交流の場となる市民ギャラリーを整備予定です。なお、市民ギャラリーは、多目的スペースとして、自治連合会をはじめとした様々な団体や地域住民の方々の活動の場としてもご利用いただけます。



※画像はイメージです

■チームラボについて

アートコレクティブ。2001年から活動を開始。集団的創造によって、アート、サイエンス、テクノロジー、そして自然界の交差点を模索している国際的な学際的集団。アーティスト、プログラマー、エンジニア、CGアニメーター、数学者、建築家など、様々な分野のスペシャリストから構成されている。

チームラボは、アートによって、自分と世界との関係と新たな認識を模索したいと思っている。人は、認識するために世界を切り分けて、境界のある独立したものとして捉えてしまう。その認識の境界、そして、自分と世界との間にある境界、時間の連続性に対する認知の境界などを超えることを模索している。全ては、長い長い時の、境界のない連続性の上に危うく奇跡的に存在する。

ニューヨーク、ロンドン、パリ、シンガポール、シリコンバレー、北京、メルボルンなど世界各地でアート展を開催。ミュージアム・大型常設展を東京・お台場「チームラボボーダレス」、東京・豊洲「チームラボプラネッツ」、上海「teamLab Borderless Shanghai」、マカオ「teamLab SuperNature Macao」などで開館した他、今後も北京、ハンブルク、ユトレヒト、ジッダなどでオープン予定。

チームラボの作品は、ビクトリア国立美術館（メルボルン）、ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館（シドニー）、南オーストラリア州立美術館（アデレード）、アモス・レックス（ヘルシンキ）、ロサンゼルス現代美術館（ロサンゼルス）、サンフランシスコ・アジア美術館（サンフランシスコ）、ボルサン・コンテンポラリー・アート・コレクション（イスタンブール）、アジア・ソサエティ（ニューヨーク）に収蔵されている。

teamLab is represented by [Pace Gallery](#), [Martin Browne Contemporary](#) and [Ikkan Art](#).

チームラボ: <http://teamlab.art/jp/>

当社概要

労働市場における諸課題を解決し、誰もが働く喜びと幸せを感じられる社会の実現を目指す“Labor force solution company”をビジョンに掲げ、人材サービス事業と DX 事業を運営しています。企業理念「私たち dip は夢とアイデアと情熱で社会を改善する存在となる」のもと、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

社 名：ディップ株式会社

代 表： 富田 英揮（代表取締役社長 兼 CEO）

本 社：東京都港区六本木 3-2-1 六本木グランドタワー31F

電 話：03-5114-1177（代表）

設 立：1997 年 3 月

資本金：1,085 百万円（2022 年 2 月末現在）

従業員数：2,356 名（2022 年 4 月 1 日現在の正社員）※契約・アルバイト・派遣社員除く

事業内容：求人情報サイト「バイトル」「バイトル NEXT」「バイトル PRO」「はたらこねっと」看護師転職支援サービス「ナースではたらこ」などの運営、DX サービス「ロボット」の開発・提供、他

上場証券取引所：東京証券取引所（プライム市場）

売上高：売上高 395 億円（2022 年 2 月期）

URL：<https://www.dip-net.co.jp/>

【本リリースに関するお問合せ先】

ディップ株式会社 広報部

TEL 03-6628-4070

e-mail：info@dip-net.co.jp